

# 「聲」

令和5年度の生徒会スローガンは聲(こえ)です。

コロナウイルスの影響で、一昨年、昨年と、声を出すことが様々な場面で制限されていましたが、今年から規制も緩和され、以前のように声を出すことが可能になってきました。

この「聲」という漢字には、「声」を発するという意味と「声」を聴くという意味の2つがあります。声を出してお互いに励まし合い、その声に応じて行動することで学校全体が活性化すると思いました。

「声」は、普段私たちが使っている何気ないものですが、誰かを励ましたり、場の雰囲気を作ったりと大きな力を持っています。

また、友だちの「声」に耳を傾けることで、友だちが考えていることや感じていることを共有し、お互いに理解し合うことができます。

それらの「声」が持つ力を、あいさつや応援・合唱など様々な場面で活かすことができれば、とても素晴らしいものになると思います。日常生活の中でも、仲間を励ましたり高め合ったりするような声が飛び交えば、みんなが楽しく和やかな雰囲気になり、そのクラスの良い雰囲気は学年・学校全体に広がっていきます。

声は学校を変える大きな力を持っています。その声を持つ力で全校生が繋がり、さらなる高みを目指して前に進み続ける高楯中生徒会にしていきたいと思います。